

私の政策

日本の食と環境を次世代に継承

党東京都参議院比例区第38支部長

進藤かねひこ (52)



私は、昭和61年に入省以来、29年間勤めてきた農林水産省を昨年の6月、中山間地域振興課長を最後に辞職しました。その後、政治活動を開始し、全国各地を回り、その実情に耳を傾け意見を交換しております。全国を巡回する中で、わが国の国土には人間の体という動脈と静脈にあたる農業用水路・排水路(約40万km)

「地球10周分」が隔々まで張り巡らされ、肉体にあたる450万haの農地と一体になって国民の食料を支えており、多面的機能の適切な発揮を通じて、まさに日本の

未来の子供たちのためにも、食と環境を守り抜き、徹底した「現場主義」・「地域主義」で農業と農村を元気にします!

環境と国土を支えていることをあらためて実感しています。過去・現在・将来とも国民の食料を支える農地と水、その機能を維持・増進する土地改良は「日本の命綱」です。しかし、その命綱が予算不足により切れそうになっていることに強い危機感を禁じ得ません。私は、全国各地でお聞きした声を6項目に集約して、それを自身の政策として掲げ、その実現に全身全霊でまい進する覚悟です。

に重要な「中山間地域等直接支払制度」などについて、制度の充実に全力を尽くします。

は、女性の力が欠かせません。今後の土地改良についても、女性の意見を踏まえた展開が重要です。女性の視点を重視した農山村政策の展開に全力を尽くします。

3. 災害に強い農山漁村づくりに全力
日本の農山漁村には、地すべり地帯や急傾斜地帯が数多くあり、災害が頻発している中で多くの排水ポンプやため池などの老朽化が進んでおり、その対策には一刻の猶予も許されません。迅速かつ的確な対策に全力を尽くします。

6. 農業と農山漁村への国民の理解に全力
日本の持続的成長には、農山漁村が食と生活の拠点として健全に発展していくことが必要です。都市農業を含めた農業と農山漁村をもっと国民の身近なものとし、その振興を図るために、国民の理解が得られるよう全力を尽くします。

4. 自然豊かな美しい農山漁村の継承に全力
山から海に至る日本の「郷」は、歴史と伝統文化に育まれた、まさに日本の宝です。農地と水、

「6つの全力」に全精力を傾注し、「安全で安心な食」、「大切な農地と水」、「美しい農山漁村」を守り抜き、日本の食と環境を次世代に良好な状態で引き継ぎます。

1. 土地改良の予算確保に全力
国民の命と暮らしは農地と水が健全であってこそ守られています。しかし、そのために必要な「土地改良」予算が大幅に不足しており、このままでは日本の農業と地域はその土台から崩れ、日本の未来は危ういものとなります。安全で安心な食料生産のためにも、必要な土地改良の予算確保に全力を尽くします。

5. 女性の視点を重視した農山村政策の展開に全力
農業や農村の振興を図るために



全国各地を回り、農業関係者に政策を訴える進藤かねひこ支部長

2. 日本型直接支払制度の充実に全力
地下水かん養や洪水防止など農業が有する多面的機能の発揮を支える「多面的機能支払制度」や中山間地域の維持



農業生産法人の作業現場にて

進藤 金日子(しんどう・かねひこ)
昭和38年7月7日秋田県協和町(現大仙市)生まれ。岩手大学農学部卒業。61年農林水産省入省。本省を皮切りに、九州・北陸・関東農政局管内、在チリ日本国大使館、熊本県庁で勤務。同省中山間地域振興課長で

退任。現在は全国土地改良政治連盟顧問、全国水土里ネット会長会議顧問などを務める。家族：妻、長男、長女、愛犬ルリ。好きな言葉：「真実一路」「我以外皆我師」。趣味：読書、旅行、野球観戦。

進藤 かねひこ事務所 〒105-0004 東京都港区新橋5丁目33-9 グリーンビル3階
TEL:03-6435-7882 FAX:03-6435-7883

ホームページ <http://www.shindo-noson.jp/>



農業関係者らと精力的に意見交換会を開催。現場からいただく声を何よりも大事にしている